

# 会 員 通 信



2018.6 Vol.28

- アンケート結果 ..... 1
- 第21回 研修会報告(東京) ..... 2・3
- サポーター研修会報告 ..... 3
- サポーターリレーコラム ..... 4
- 漢字研究の扉(コラム) ..... 5
- 書籍紹介 ..... 6
- 漢字まなび活動のご紹介 ..... 7
- 投稿募集 ..... 8

## ネットワーク会員に聞きました!

今回のアンケートテーマは、「ネットワーク会員の2018年の抱負を漢字一字で表すと・・・」です。得票数の多かった漢字からいくつか理由もあわせてご紹介します。(回答者: 49名)

第1位 応募数5票

# 挑

- ・目標の1つでもある1級合格、またこれからの人生を決める上で、自分にとっては「挑戦」の年になるであろうと感じたから。(20代)
- ・ここ2年ほど、仕事にかまけて1級受検を伸ばしに伸ばしてきているので、今年こそは1級に再々々々(!) 挑戦を! の気持ちを込めて。(50代)
- ・老後、気を若く維持して色々な事に挑戦し続けたい。(60代)

第2位 応募数3票

# 続

- ・毎日、新聞や仕事の書類などで漢字を読んでいます、私の場合、それが漢字の勉強になるわけではありません。漢字についての知識を増やし、それを誰かに伝えるためには、意識して勉強を続けることが大切だと思います。(50代)

第3位 応募数2票

# 楽

- ・漢字を楽しみながら学んで行きたいと思っています。(70代)

# 健

- ・どんなことをするにも、健康であることが必要だから。(20代)

# 一

- ・漢字関連の資格で、既に、「漢字検定1級」及び「四字熟語検定1級」を取得しています。今年は更に、日本語関連の資格「日本語検定1級」及び「敬語力検定1級」を取得し、漢字や日本語関連の資格で1級揃えにする事が、私の抱負です。よって、「一」という漢字を選択しました。(50代)

## Pick Up

# 実

- ・大学での実習があるので頑張りたい。国家試験を2つ受ける予定で、大学生活も残り僅か1年しかないため、充「実」した大学生活と漢字の勉強や学業についても「実」力を上げ、「実」りある1年にしていきたいから。(20代)

# 望

- ・昨年念願の漢字教育サポーターの資格を取得しました。先輩方の活動を見せて頂いたりしていますが、自らが活動するには至らず、今年こそは小さな第一歩をとっております。そこで、『常用字解』に「つま先立って遠くを望み見る人の形」「のぞむ、まちのぞむ、ねがう」の意味に用いるとある、この字を選びました。(60代)

## 〈編集部よりコメント〉

会員の多くの方が、学習面での抱負を理由に漢字を選んでいましたが、ご自身の学習をさらに深めようとしている方や、学んだことを誰かに伝えようとしている方、漢字以外の分野に興味を広げる方など、様々な「学び」の形が見られました。学業やお仕事面で環境が大きく変化する方も多いようですので、2018年が会員の皆様にとってますますの飛躍の年になることをお祈りしています。

## 第21回 会員向け研修会を開催いたしました。

2018年4月15日(日)に東京都のフクラシア東京ステーションにて、第21回会員向け研修会を開催し、108名の方にご参加いただきました。講演内容を簡単にご紹介いたします。

### 漢字の心理学

国立国語研究所 よこやま しょういち 横山 詔一 先生



#### 1. 文字を思い浮かべる

まず、漢字の足し算のクイズを考えてみよう。「黄」と「木」を組み合わせると「横」ができる。では、「口」と「十」と「共」を組み合わせると一つの漢字を頭のなかで作ると、どのような漢字になるか?(正解は「異」。) このような問題を日本人大学生に解かせてみると、ほぼ100%の人が空中、ひざの上、手のひらの上などで自発的に指でなぞる動作をする。台湾からの留学生も、日本人大学生とほぼ同じように指を動かす。これを「空書」行動くうしやというささきまさと わたなべあきら(佐々木正人・渡辺 章, 1983)。これは漢字に限らず、算盤の上級者の人が暗算をしているときにも同じ現象が起きることが知られている。

次に、漢字の足し算課題を解くときに、空中、白い紙の上、手のひらの上などに指で文字を書くことを意識して積極的に行う空書グループと、指は一切動かしてはいけない空書禁止グループを比較したデータを見る。それによると、日本人大学生の場合は空書をしないと正答率が半分ぐらいに低下する。ところが、漢字文化圏ではないところから来た欧米人留学生の場合は、空書をしない方がかえって正答率が高くなる。

以上のような結果から、漢字文化圏の人は、漢字や英単語の形を思い浮かべるときに、視覚イメージだけではなく、身体・肉體動作に関係する運動感覚イメージも無意識のうちに活用しているのではないかと考えられる。このように、漢字は、東アジアの人々の身体感覚とつながっているメディアであり、身体動作を「いざなう」環境刺激だと言えるかもしれない。

#### 2. 漢字を選ぶ

今の時代、漢字を書くときに画面上で選択候補から選ぶ時代、つまりは「漢字を書く」ことが「漢字を選択する」側面を持つような時代になってきた。

「パソコンなどで字を打っているときにより使いたいと感じる方の字を選んでください」と教示し、パソコンや携帯メールで「ひのき」を漢字変換して、「桧-檜」の二つの候補が出てきた場合、どちらの字体を選ぶのか、また、「会-會」の場合はどちらを選ぶのか、字体の好みに関するデータを収集した。

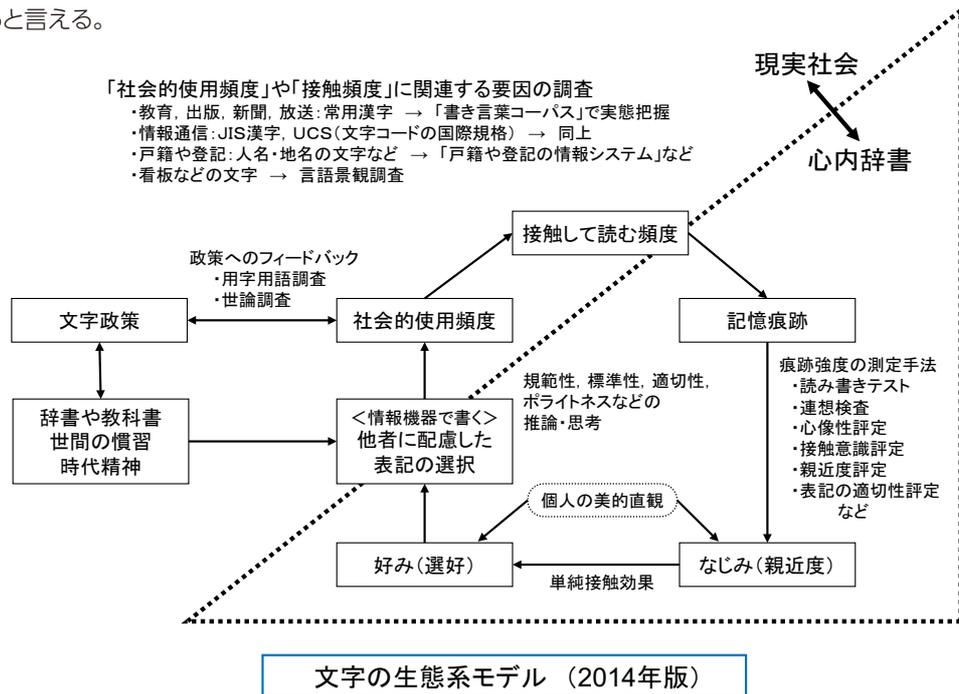
その結果、20代は「会」を選んだ人の割合が96%で、「會」は4%だった。それに対して「桧」を選んだ人の割合は33%で、「檜」が67%であった。これは、やや不思議な結果である。「桧-檜」ペアの差異は「木」を除いた「会-會」であるから、「会-會」ペアのデータから「桧-檜」ペアの選択傾向を予測できそうな気がする。しかし、実際にはそうではない。人気の高い「会」を要素とする「桧」より、人気がない「會」を要素とする「檜」の方が若年層で好まれる。このことから、文字の認知は、部分要素という単位の足し算によって成立するわけではないことが分かる。

#### 3. 文字の生態系モデル: 文字と社会と人間心理

日常生活において私たちは「社会的使用頻度」の高い文字に高確率で接触する。ある文字に「接触して読む頻度」の高低は、その文字に対する「記憶痕跡」の強度を変化させ、それが「なじみ」、ひいては「好み」を形成する。先ほどの「桧-檜」の場合、日本の印刷メディアにおける使用頻度は「檜」の方が「桧」よりも高いことから、日本人が接触して読む頻度は「檜>桧」だと推測できる。図の中の「単純接触効果」(「なじみのない新奇な刺激に

繰り返し接触するだけで、その刺激に対する好みや好意度が高まる現象)によって「檜」を選択する割合が「松」よりも高くなったと考えられる。

また、我々は「好み」をそのまま表記の選択に反映させるのではなく、社会的常識やしきたりを踏まえ、他者に配慮した文字の選択をしている。その選択の傾向や、常用漢字表などの文字政策も「社会的使用頻度」に影響を与えている。このような一連の流れのサイクル(循環)が繰り返されることにより、日常の文字生活は支えられていると言える。



## 漢字教育サポーター研修会報告

- 日 時：4月15日(日)10:00~11:30
- 参加者：35名
- 研修会内容

### 「講座立案に向けたフレームワーク体験会」

班ごとに担当の世代(小学校低学年、中学年、高学年)について特徴(知識量や集中力など)を模造紙の枠に沿って書き出しました。その後、それぞれの特徴を踏まえて講座の詳細(時間配分や教材など)について意見を出し合い、班ごとに発表しました。活動経験の有無にかかわらず、積極的な意見交換が見られました。



### ● 漢字教育サポーター研修会について

漢字教育サポーターの研修会は年3回、全国各地で生涯学習ネットワーク研修会と同日同所で行っています。サポーター研修会では、近隣のサポーターと一緒にグループワークをしたり、先輩サポーターと情報交換をしたりすることができます。

※サポーターは、学校や生涯学習施設など地域からの依頼に応じて、漢字を学ぶ楽しさを伝える活動を行っています。

### 【お知らせ】

今号より会員通信本誌ではなく、同封のチラシにて研修会のお知らせをすることになりました。

次回は7月29日(日)、初の札幌市での開催です。皆様のご参加をお待ちしております。

### 【今後の研修会開催予定】

11月18日(日) 京都市

## 漢字教育サポーターリレーコラム

このコーナーでは、リレー形式で漢字教育サポーターの皆さんによる漢字や漢字教育活動に関するコラムを掲載します。第4回は神奈川県にお住まいの秋山克彦さんにご執筆いただきました。

### 篆刻を通じて

第1期漢字教育サポーター 秋山 克彦

長年、篆刻を趣味としている。趣味が高じて十数年前から、近くの地区センターで篆刻サークルの講師をしている。月2回日曜日の午前中が活動日だ。メンバーは、40代から80代までの15名程であるが、平均年齢は、優に後期高年齢を超えている高年齢集団である。篆刻歴25年のベテランもいれば、昨年「入会したい。」と言って入ってきた81歳の男性もいる。

メンバーが集まる日を、「お稽古日」といっている。かといってお稽古日に篆刻作品を作る訳ではない。

メンバーには、古語や詩句、四字熟語等から選んだ1年間分の月例課題を渡してある。メンバーは、家で課題の印を完成させて、お稽古日に出来上がった印を2枚押し提出する。提出された2枚のうち1枚を添削し、次回のお稽古日に、添削前、添削後の作品を並べて比較しながら解説するというのが、主な内容だ。

篆刻で扱う文字は、甲骨・金文・篆文等の古代文字である。「漢字教育サポーター育成講座」の内容は、篆刻をするうえで大いに役立った。今は、お稽古日には、添削した作品の解説だけにとどまらず、漢字の字



義、部首、成り立ち、六書、難読、同訓異字などにも触れて、質疑応答をしながら、講義を進めている。篆刻好きのメンバーだけあって、漢字に興味があり、毎回楽しみに聞いているようである。

今後も新しいメンバーを増やししながら、篆刻を通じて、漢字の面白さを伝えていきたい。



『天禄永昌』(5cm×5cm)(原寸)

秋山さんからの紹介で  
次回は東京都の関根美奈子さんのコラムを掲載します。  
お楽しみに!

### 漢字クイズ 難読地名 北海道

今回は、次回研修会が開催される北海道の地名をご紹介します。

以下の3つの地名は何と読むでしょうか。

- ① 渚滑 (紋別市)
- ② 神居古潭 (旭川市)
- ③ 熱鄕 (寿都郡黒松内町)



解答は6ページへ

※画像はイメージです。

## 漢字研究の扉

漢字文化研究所とは、日本文化の側面から日本の漢字をつまびらかにする調査研究等を行うために、日本漢字能力検定協会内に置かれた組織です。このコラムでは、漢字文化研究所の研究員が「日本語や漢字の面白さ、奥深さ」を会員の皆様にお伝えします。

### 付 度

公益財団法人 日本漢字能力検定協会 漢字文化研究所 田中 郁也

先日、漢字ミュージアムのご来館者から「中国では漢字の読み方がひとつしかないと聞いたが本当か?」というご質問をいただきました。大変興味深い質問ですので、ここでお答えするとともに、「破読」という専門用語についてご紹介したいと思います。

日本漢字音に呉音・漢音・唐音の3種類があることはよく知られていますが、漢字の本場中国ではどうなのでしょう。広東語や上海語などの方言はひとまずおき、現代中国の標準語（普通話）について言いますと、基本的にはひとつの漢字がひとつの音で読まれるものの、260余りの漢字には複数の読み方があるとされています<sup>(※1)</sup>。例えば、「校」という字は、“学校”の意味の時は“xiào (シアオ)”と読み、“校正”の意味の時は“jiào (ジアオ)”と読みます。こういった漢字が260余字あるのです。

実は、中国で複数の漢字音を持つ字を私たちはよく知っています。昨年世間をにぎわせた「付度」という言葉の「度」字です。「度」は“はかる・おしはかる”の意味では“タク”と読み、それ以外の意味で用いる時には“ト・ド”と読みます。「付度」は“他人の心を推しはかる”の意味ですから、“ソンタク”と読むというわけです。このような場合の音読みの違いは、日本漢字音の種類（呉音・漢音・唐音）の違いに起因するものではありません。ひとつの漢字で意味に対応して音読みが変わる場合、それはもともと中国語にあった読み分けに由来するものなのです<sup>(※2)</sup>。

「度」のように、ひとつの漢字を意味によって読み分けることを、「破読」と呼びます（また破音・読破

とも）。現代日本語では、「クラブ」という言葉のアクセントを変えて、“趣味などの団体（クラブ）”と“ディスコなどの踊り場（クラブ）”とを区別しているようですが<sup>(※3)</sup>、破読でも同じように、声調（中国語におけるアクセント）を変えて、意味や品詞、機能を変える場合が多く、その変化の過程や規則性を明らかにする研究が進められています。

破読される字には他に「悪 アク（善悪）：オ（嫌悪）」「説 セツ（説明）：ゼイ（遊説<sup>※4</sup>）」「楽 ガク（音楽）：ラク（快樂）」「読 ドク（読書）：トウ（句読点）」「殺 サツ（殺害）：サイ（相殺）」などがあります。それぞれ、読み方の違いが意味の違いと対応していますので、ぜひこれを機会に漢和辞典でお調べください。

※1 普通話審音委員会編『普通話異読詞審音表』（文字改革出版社、1986年）に列挙された例のなかで、「統読」注記がないもの。

※2 一見すると、呉音・漢音の違いが意味の違いと対応しているように見えるものもある。例えば「省」は、“みる・かえりみる”などの意味では“セイ（漢音。例：反省”、“国の機関・はぶく”などの意味では“ショウ（呉音。例：宮内省、省略）”と一般に読み分けられる。しかし、これは各語彙の使用領域と伝来時期が違うために外見上そう見えるだけであって、呉音・漢音の違いと原語の意味の違いとは対応しない。つまり「省略」を“セイリャク”と漢音で読んでも、中国語における使い分けからは外れないということになる。

※3 上線を引いたところが音調の高い部分。この使い分けはNHK放送文化研究所編『NHK日本語発音アクセント新辞典』（NHK出版、2016年）による。

※4 「説 ゼイ」は慣用音。漢音「セイ」。

## 書籍紹介



### 『雨かんむり漢字読本』

草思社 2018年 円満字 二郎 著 【紹介者】兵庫県 P.N.ミッフィー

『漢字ときあかし辞典』の著者、円満字二郎さんの最新エッセイで、「雲」「霰」「霽」など雨かんむりの漢字について、その漢字が登場する古典はもとより、現代での使われ方にまで触れながら紹介されている。

「霽」と「霰」は、百科事典では直径5mm以上か未満かという「サイズ」で区別されているが、漢字の世界ではこの区別ができるずっと前から「霽」も「霰」も存在しており、その違いはサイズだけではない。「陰」と「陽」、「世の乱れ」と「平和」、さらには現れる文献も「歴史書」と「文学」とで異なるのだとか。読むとその漢字に自然と愛着が沸く本だ。漢字を学ぶ人、教える人にぜひお勧めしたい。



### 『ニャンだ! その日本語—どっちがマチガイ? どっちが正しい?』

辰巳出版 2016年 ネコまる編集部 編 【紹介者】愛知県 水谷さん

私が勤務先の書籍コーナーで見つけた時に思ったことは“書籍紹介に出すべき本である”の一言です。本書は、全てが二者択一形式になっており、更に猫の写真にも癒して貰えます。扱、実際の私の結果は一部門57問中20問の不正解で、それだけ思い込みで覚えていた日本語が多いという事なのです。

そこで本書のお勧めの活用法は一頁毎の設定問を作文にすることです。それによって、より一層の理解力が養われる事と存じます。正しい言葉が覚えられと共に文章を作成するという新しい楽しみが出来る故、何卒本書を御活用頂けます様宜しくお願い申し上げます。



### 『大野晋の日本語相談』

河出書房新社 2014年 大野 晋 著 【紹介者】京都府 P.N. 金平糖

1986年～1992年に雑誌に連載された内容が、何度かの編集を経て2014年に再文庫化されました。「なぜ、甲ではなく乙な味なのか」という身近な言葉に関する疑問や、「タイムスリップした場合、現代人はどこまで昔の日本語を理解することができるのか」というSFチックな疑問、「なぜ古典を勉強しなければならないのか」という学生からの素朴な疑問に対して、「日本語の達人」大野晋さんが真摯に回答されています。日本語文法や発音、日本語教育の歴史などの豊富な知識に基づいた回答内容は読み応えがあり、お勧めです。



## 漢字クイズ 難読地名(北海道) 解答編

- ① しょこつ(渚滑)
- ② かむいこたん(神居古潭)
- ③ ねっぶ(熱鄕)

【今回の一字】 鄕 (1級)

音：フ 訓：くるわ  
意味：くるわ。城の外囲い。

参考：『漢検 漢字辞典[第二版]』・『漢字ペディア』  
※「漢字ペディア」は登録商標です。

## 漢字まなび活動のご紹介

当協会の「平成30年度漢字まなび活動助成」に採用された活動の一部をご紹介します。  
お申し込みやお問い合わせは各主催団体へお願いします。

### 福島県

#### 活動名：阿辻哲次先生講演会

日 程：2018年6月10日(日) 13:00～15:00

会 場：郡山市市民交流プラザ 大会議室  
(福島県郡山市駅前2丁目11-1  
ビッグアイ7階)

講 師：阿辻哲次氏 (京都大学 名誉教授)

演 題：「知っておきたい漢字の話  
—とめはねと筆順について—」

参加費：無料

申込先：事前申し込みは不要。当日ご来場ください。

主 催：福島県漢字同好会

#### 活動名：笹原宏之先生講演会

日 程：2018年9月9日(日) 14:00～16:00

会 場：郡山市市民交流プラザ 大会議室  
(福島県郡山市駅前2丁目11-1  
ビッグアイ7階)

講 師：笹原宏之氏 (早稲田大学 教授)

演 題：未定

参加費：無料

申込先：事前申し込みは不要。当日ご来場ください。

主 催：福島県漢字同好会

### 神奈川県

#### 活動名：横浜あさひ漢字塾

日 程：毎月第2日曜日を基本としています。

【14:00～16:00】

2018年6月10日、7月8日、8月12日、  
9月9日

【13:00～15:00】

2018年10月21日、11月11日、12月9日  
2019年1月13日、2月10日、3月10日

会 場：横浜市立万騎が原小学校 B棟2階教室

講 師：北島茂治、有賀理 (ともに漢検漢字教育サポーター、漢検1級)

内 容：大人と子どもと一緒に漢字を楽しく学ぶ講座です。講座のご受講希望はもちろん、講師活動に関心がある方のご見学も受け入れています。

### 神奈川県

参加費：1回200円

持ち物：ノート、筆記用具

申込先：参加希望日までに有賀  
(TEL:090-9348-7987)へお問い合わせ  
してください。

主 催：万騎が原地区青少年指導員連絡協議会

### 宮崎県

#### 活動名：みやざき三計塾

日 程：5月19日(土)【終了】、6月16日(土)、  
7月7日(土)、8月26日(日)

10:00～11:45(連続受講がお薦めです  
が、希望日のみでも可能です)

会 場：宮崎市安井息軒記念館 研修室  
(宮崎市清武町加納甲3378-1)

講 師：山元宣宏氏  
(宮崎大学教育学部 准教授)

内 容：安井息軒の著作である『論語集説』を丁寧  
に読んでいきます。幕末明治の大儒  
学者、安井息軒の学問を追体験しま  
せんか。講師の解説付きなので、漢  
文初心者の方も大丈夫です。

参加費：無料

申込先：電話・FAX・はがき・メールのいずれかの  
方法で、「住所、氏名、連絡先」をお知らせ  
ください。当日受け付けも可能です。

安井息軒記念館

TEL:0985-84-0234

FAX:0985-84-2634

メール:sokken.yasui@pic.bbiq.jp

住所:宮崎市清武町加納甲3378-1

主 催：特定非営利活動法人安井息軒顕彰会



# 会員通信への投稿募集中!

会員通信を充実させるため、会員の皆様からの積極的なご投稿をお待ちしています。

## 1 級に初めて合格しました!

あなた  
貴方の合格体験が、1級を目指している方々の励みになります。どのようにして合格に至ったのか、「貴方の」経験をご投稿ください。

投稿内容：①合格時期  
②合格までの受検回数  
③合格に向けて工夫したこと、励みになったこと  
④合格した時の気持ち、感想  
⑤今後の目標

※文字数：項目①～⑤までの合計で500字以内  
※対象：平成28年度第3回(2月)～平成30年度第1回(6月)の検定で初めて1級に合格された方

## 書籍紹介

漢字・言葉に関する書籍で面白いと感じたもの、興味を持ったものをご紹介ください。

投稿内容：①書名 ②著者名 ③出版社名 ④発行年  
⑤お薦めの理由(250字以内)

## 漢字クイズ・パズル

会員の方々の知識を活かした、クイズ・パズルのご投稿をお待ちしております。

投稿内容：①問題 ②解答(未発表作品に限る)  
※例：漢字クロスワードパズル、難読漢字パズル、漢字クイズ等

## イベント告知

ネットワーク会員に向けて、漢字に関するイベントや学習会、研修会の告知ができます。

投稿内容：①日時 ②会場 ③内容 ④参加費  
⑤公開してもよい連絡先(メールアドレス・電話番号等)

※会員通信は6月、10月、2月に発行予定です。情報をお寄せいただいた時期によっては、会員通信ではなく、メールマガジンでのお知らせとなる可能性がございます。



アンケートにご回答、もしくはご投稿いただいた方の中から3名の方に図書カード(500円分)をお送りいたします。(当選の発表は賞品の発送をもって代えさせていただきます。)

## 会員向けアンケート回答方法

会員通信に掲載するアンケートにご協力をお願いします。

今回のアンケートテーマは「会員流! 漢字の覚え方について」です。間違えやすい漢字や似ている漢字の覚え方について、皆様の工夫をお寄せください。下記のバーコードを読み取るか以下のアドレスを入力し、2018年8月20日(月)までにご回答をお願いいたします。



[https://ssl.kanken.or.jp/webapp/form/16770\\_avy\\_105/index.do](https://ssl.kanken.or.jp/webapp/form/16770_avy_105/index.do)

※上記のアドレスにアクセスできない場合、メールもしくは電話にてお知らせください。郵送・FAX・メールいずれかの方法でアンケート用紙をお送りします。

## 投稿方法

①～④を明記し、メールまたはFAX、郵送にて下記の宛先にお送りください。

- ①会員番号
- ②氏名(ペンネームも可)
- ③電話番号
- ④各コーナーへの投稿内容やご意見・ご感想

投稿先 **日本漢字能力検定協会**  
**生涯学習ネットワーク担当**  
E-Mail: lifelong@ic.kanken.or.jp  
FAX: 075-532-1110  
郵送: 〒605-0074  
京都市東山区祇園町南側551番地

次号の締切日：2018年8月20日(月)

※投稿・会員通信へのご感想は随時受け付けております。  
※お名前・ご連絡先を投稿される場合、掲載しても差し支えないかご確認ください。  
※未成年の方は保護者の方の同意を得て、ご投稿をお願いいたします。  
※全てのご投稿を掲載、採用できるわけではございません。また、原稿は一部割愛・校正させていただくことがあります。ご了承ください。